

障がい者就労・活動施設整備事業における成果

平成 22 年度福岡市 N P O 活動推進補助金による障がい者就労・活動施設整備事業に伴い、下記の成果があった。

● 電気分電盤取替工事による成果

本年は、4 月から地域活動支援センターとして運営されることになり、利用者も増え、それに伴い電気の使用量も増えることが見込まれた。

またその上、例年のない猛暑で、エアコン等の電気使用量も表 1 から分かるよう使用も、昨年より多い。

これまでも、エアコン等で電気の使用量が大量となり、ブレーカーが切れることが、度々あった。

その度に、変化のいがてな利用者は、調子を崩すことがあったり、作業が中座してしまうことも少なくなかった。

しかし、今年度の夏は、分電盤を変えることにより、ブレーカーが切れることは一度もなく、スムーズな活動ができた。

表 1 TOUCH に於ける電気使用量

	7 月分 (6/7～7/4)	8 月分 (7/5～8/3)	9 月分 (8/4～9/5)
平成 21 年	2 9 0	3 0 0	3 1 7
平成 22 年	4 7 2	4 7 2	6 6 1

(単位 kwh)



猛暑の中、エアコンをつけてスムーズに作業を行う。



余暇活動も、ブレーカーが切れることもなく、楽しく活動する。

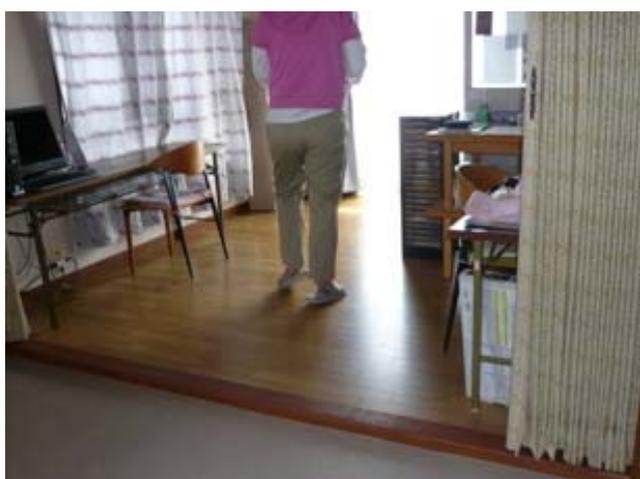


ミキサーを使っても、途中で切れることなくスムーズにできる。

● 3階フローアの貼替工事による成果



床板の老朽化に伴い、頻繁に通る中央部、作業台前の赤丸内部分が5～10mmほど沈み、床板が割れ怪我をする恐れもあった。その部分を通らないように、移動しなければならなかったし、また、いつ割れるのではと不安気持ちで活動をしていた。



不安なく、自由に移動することができ、怪我をする心配もないので、支援者も安心できる。

フローア貼替後